



▲ミツマタ



▲松尾山のお田植祭

教務課文化財保護係
矢野 和昭

＊参考文献『大平村誌』
山のお田植祭は四月十四日(日)十二時ごろから、松尾山三社神社にて行われます。

最後に、今年の松尾山のお田植祭は四月

図書館だより

■開館日/火～土曜日 10:00～18:00、日曜・祝日 9:00～17:00
■休館日/毎週月曜日、年末年始、特別蔵書点検



しもむら あつし
下村 敦史【著】 中央公論新社(入荷済)



うちだ りんたろう
内田 麟太郎【文】 童心社(入荷済)

おすすめ本		
お茶を楽しむ教科書		ナツメ社
もっと！週末海外	こばやし のぞみ 小林 希【著】	ワニブックス
のち更に咲く	さわだ どうこ 澤田 瞳子【著】	新潮社
うたう	お の でら ふみのり 小野寺 史宣【著】	祥伝社
花見じゃそうべえ	たじま ゆきひこ【作】	童心社
※感染症対策として、書籍の消毒を行っていますので安心してご利用ください。		※すべて入荷済

こうげのみどき
上毛岡土記 Vol.216
にしともえだ
西友枝のミツマタ
先月の八日「春の訪れ」として上毛町西友枝のミツマタがNHK北九州放送局のニュースで紹介されました。内容はというと、「上毛町の山あいミツマタが淡い黄色の花を一斉に咲かせ、春の訪れを感じさせています。ミツマタはジンチョウゲ科の樹木で、枝の先が3つに分かれることからその名前が付けられたと言われています。修験道の地として栄えた上毛町や豊前市では、かつて山伏たちが和紙の原料にするためミツマタを植えたとされ、地域のゆかりの植物となっていて、今も住民たちが木を植えて育てています。」というナレーションで始まるものでした。

時代に渡来したそうです。ミツマタは冬の季語ですが、ミツマタの花は春の季語になるようです。花は上から見ると白色ですが、下から見ると黄色です。また現在でも英彦山や求菩提山の参道にはミツマタの群生地があるようです。修験者はミツマタを原料として和紙でおふだを作ったということです。松尾山にもミツマタの群生地があったのかもしれない。しかしながら、かつては修験者の住んだ坊跡と思われる遺構は残るものの、そこに自生するミツマタの姿は見られません。

修験道は明治時代に廃止されて以降は衰退の一途をたどります。昭和六十一年三月刊行の『大平村誌』の植物(木)の項でも「山野でよく見られるもの」ではなく、「屋敷や庭園でよく見られるもの」に分類されているので、このころには一般に栽培されていたようです。

環境ポスター入選作品



まつもと さわ
上毛中1年 松本 紗和

環境標語入選作品

エコ活動 地球にやさしいリサイクル
南吉富小4年 たるみ だい
垂水 大地

けしわすれ だいじな電気を大切に
西吉富小6年 かすが い
春日 伊織

※学校・学年の表記は3月時点のものです。

春のミニコンサートのお知らせ

築上東Music-Lovers'

廃校になった小学校での屋外コンサートです。ゲストによるほら貝、三味線、チンドン太鼓の音色もお楽しみください。

■日 時 4月13日(土) 10:00～11:20
※雨天時は4月14日(日)に延期
■場 所 東上集会所(上毛町大字東上2782番地)
■演奏曲目 幻想曲荒城の月、栄光への脱出、勇気100% 他
●問い合わせ先 TEL 090-7478-0064 (貴村)



ものづくり体験

くまさんキッチン

西吉富小学校、友枝小学校の家庭科クラブで、フルーツ大福作りを行いました。餅粉などの材料から自分たちで製造して一つずつ作り上げていき、笑顔いっぱいでした。

また、上毛中学校の職場体験にてカボスやシークワサーの酢作りを行い、参加した生徒は雪の中収穫体験も行い、おいしい酢ができあがりました。体験終了後に、「農業の苦労や大変さなどを体感したことで、食べ物に対する見方が変わった」と話してくれました。

●問い合わせ先 TEL 090-8401-1372(熊谷)



藤井摂シオンinちょいWARUうさぎ

こうげ音楽倶楽部

中津市のライブハウスにて、森山良子、小野リサなどのバックバンドでもご活躍のdrums藤井摂氏を招来し、一般演奏者の方々とその場での演奏を楽しむセッションを行いました。一流のミュージシャンを目前で感じつつ、参加者全体で音楽の楽しさを共有できた3時間でした。



新春神楽

唐原子供神楽

1月1日、下唐原貴船神社で新春神楽を奉納させて頂きました。当日は天気が良く、神楽日和。地元の氏神様にご挨拶することができ、清々しい気持ちで新年を迎えることができました。令和6年も唐原子供神楽をよろしくお願ひします。

●問い合わせ先 TEL 090-9601-3912 (宮本)



宇島鉄道の出前授業（唐原小学校）

宇島鉄道研究会

『宇島鉄道は大正3年に開通、昭和11年まで運転していました。線路幅762mmの軽便鉄道で、40馬力の小さな蒸気機関車で2台の客車と貨物車を繋いで走っていました。下唐原の竹藪の登り坂では、乗客が後ろから押していました。』こんなお話の後、宇島鉄道の模型機関車の製作のお話もして、汽笛を鳴らして走る様子を楽しんでもらいました。たくさんの生活物資や農産物を運び地域の生活や経済活動に多大な貢献をした宇島鉄道の歴史を子どもたちが学び、これからの地域を考えるよい学習になったと思います。

●問い合わせ先 TEL 090-2505-8551(古原)



歌とギターのデュオ♪コンサート ウィリアムス浩子 MY ROOM another side

柔らかい音色が響く教会で、ジャズから唱歌まで幅広い音楽に包まれてみませんか？心の疲れがとれるような心地よい時間をお楽しみください。こうげ音楽倶楽部メンバーも前座で演奏させていただきます。

＊歌
ウィリアムス浩子(静岡県出身)
＊ギター
北脇久士(京都在住)

■日 時 4月14日(日) 17:00開場 17:30開演
■場 所 大分日本基督教団中津協会(中津市殿町1387)
■定 員 先着50名
■チケット 3,500円
●問い合わせ先 TEL 090-7929-4916(弦本)

